操作要領

1）運転切り替えスイッチ

制御運転で異常を検出し、駆動機器の空気供給を遮断し停止後、再起動させる時「連続運転」に切り替え駆動機器の正常作動を確認し、「制御運転」に切り替えて下さい。

2）差圧調整ノブ

駆動機器への空気供給圧を確認し「差圧設定値」に基づき設定し、差圧計で確認して下さい。ノブを時計方向に廻せば差圧は上昇し、反時計方向に廻せば差圧は低下します。

⚠ 注意:設定後、必ずロックナットで固定して下さい。

3)風量調整ノブ

駆動機器の「制御運転」状態でノブを駆動機器が停止する迄、時計方向に廻し1～2回転反時計方向に戻して下さい。超微作動運転時は、駆動機器停止後1／4回転（90°）反時計方向に戻して下さい。

「連続運転」に切り替え駆動機器の作動を確認後、「制御運転」に切り替えて下さい。

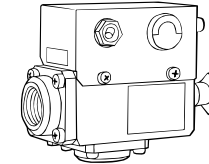
⚠ 注意:「制御運転」に切り替えた後、駆動機器が停止した時は風量調整ノブを除除に反時計方向に戻し「連続運転」「制御運転」の切り替えを繰り返し,駆動機器の安定作動を確認後必ずロックナットで固定して下さい。

株式会社 ヤマダコーポレーション

本社･営業部　〒143-8504 東京都大田区南馬込1丁目1番3号　TEL（03）3777-4101（代）
東京営業所　〒143-8504 東京都大田区南馬込1丁目1番3号　TEL（03）3777-3171（代）
大阪営業所　〒537-0025 大阪市東成区中道3丁目15番2号　TEL（06）6971-5301（代）
名古屋営業所　〒463-0052 名古屋市守山区小幡宮ノ腰7番38号　TEL（052）795-0222（代）
福岡営業所　〒816-0088 福岡市博多区板付5丁目18番14号　TEL（092）581-5477（代）
札幌営業所　〒062-0002 札幌市豊平区美園2条6丁目3番16号　TEL（011）821-0630（代）
仙台営業所　〒983-0034 仙台市宮城野区扇町2丁目2番44号　TEL（022）232-4743（代）
広島営業所　〒733-0833 広島市西区商工センター5丁目3番5号　TEL（082）278-5341（代）
相模原工場　〒229-1112 神奈川県相模原市宮下1丁目2番23号　**www.yamadacorp.co.jp**

⚠ 安全に関するご注意事項及び、取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使い下さい。性能・寸法など改良ため予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承下さい。

異常停止バルブ取扱説明書

名　　称：　異常停止バルブ
製品番号：　854006
型　　式：　ESV－06

はじめに

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本書は、本製品を安全に正しくかつ効率的にお使いいただくための重要な事項を記載しています。本製品をお使いになる前に本書を熟読し、特に本書の冒頭の「警告･注意事項」の項をよくお読みになり、ご理解された上でお使いください。
なお、本書は本製品をお使いいただく際にいつでも参照できるよう、大切に保管してください。

-警告･注意事項

本製品を安全にお使いいただくために、以降の記述内容を必ずお守りください。
本書では、警告･注意事項を絵によって表示しています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき操作を行う方法や周囲にいる方々に加えられる恐れのある人身事故や、周囲にある物品への損害を未然に防止するための目印となるものです。
その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解いただくようによくお読みください。

⚠ 警告: この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡する可能性、又は重傷を負う可能性があることを示しています。

⚠ 注意: この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害が発生する可能性があることを示しています。
また、危害や損害の内容を示すために、上記の表示とともに以下の絵表示を使用しています。

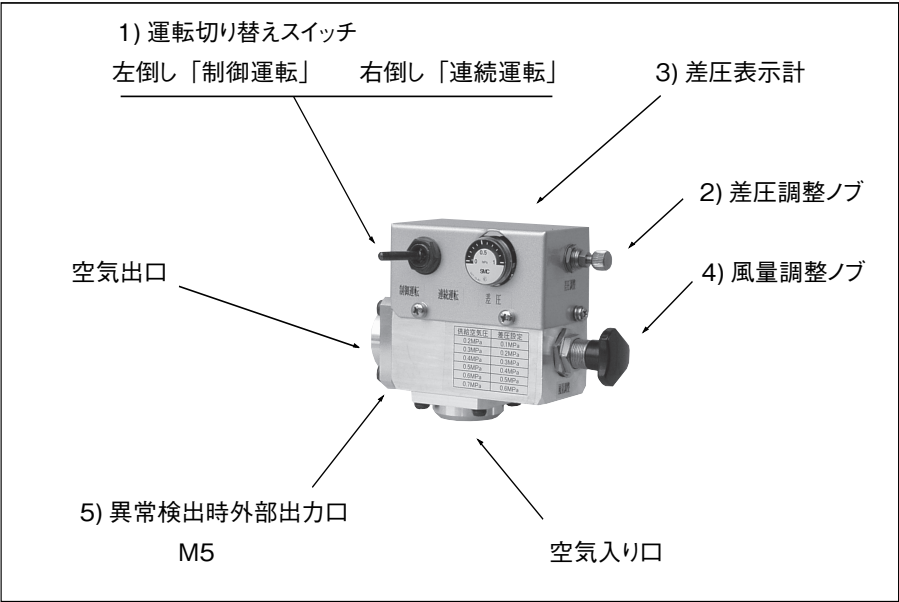
⊘ この表示は、してはいけない行為（禁止事項）であることをあらわしています。
表示の脇には具体的な禁止内容が示されています。

❗ この表示は、必ずしたがっていただく内容であることをあらわしています。
表示の脇には具体的な指示内容が示されています。

適　　用：　圧縮空気で駆動する機器全てに使用できる。
駆動機器の作動異常「空気風量の増加・異常動作による
空気圧の低下」を検出し圧縮空気源を遮断する。
⚠ 注意：圧縮空気又は、窒素ガス以外は使用しないでください。

仕　　様：　使用圧力：0．2～0．99MPa
接続口径：空気入り口　Rc3／4
空気出口　　Rc3／4

使用方法：1）本機の使用に当たっては、必ず圧縮空気供給源に空気圧調整弁（レギュレータ）を設備し、空気供給圧を一定に保って下さい。
❗ 空気圧調整弁の2次側を分岐して本機以外に供給しないで下さい。
2）可能な限り駆動機器の圧縮空気供給口に直接接続して使用して下さい。
3）別付けの場合は、駆動機器の空気供給口から2m以内に設置して下さい。
微作動運転での異常検出が容易に行えます。
4）別付けの場合は、駆動機器の空気供給口径のホース等で接続して下さい。
5）駆動機器の空気供給源を遮断し、再供給した後「運転切り替えスイッチ」を連続運転に切り替え駆動機器の作動が安定した後、制御運転に切り替えて下さい。

各部の名称：

各部の用途

1)　運転切り替えスイッチ
「制御運転」駆動機器の異常を検出し空気の供給を遮断する。
「連続運転」異常検出遮断後の復帰に使用する。
異常検出を解除し、連続運転で使用したい時に切り替えて使用する。

2)　差圧調整ノブ
駆動機器への空気供給圧に合わせ、差圧を設定するノブです。

「設定基準値」

機器へのエア供給圧	差　圧　設　定
0.2MPa	0.1MPa
0.3MPa	0.2MPa
0.4MPa	0.3MPa
0.5MPa	0.4MPa
0.6MPa	0.5MPa
0.7MPa	0.6MPa

3)　差圧表示計
差圧調整ノブにて調整された圧力が表示されます。

4)　風量調整ノブ
駆動する機器の運転状態に合わせ調整します。

5)　異常時外部出力口（M5）
駆動機器の異常を検出し、外部に発信する時に使用します。
接続口はM5で、チューブフィッテングを使用し制御機器に接続します。
（空電変換器を使用することで電気信号に変換が可能です）
正常運転時供給空気圧と同等の圧力が常時供給され、異常を検出すると空気圧が解除されます。